

参 考 資 料

- 1 都道府県設置博物館数
- 2 県内博物館数の変遷
- 3 県立博物館収蔵資料点数
- 4 主な博物館資料
- 5 県立博物館収蔵庫の現状
- 6 県立博物館の利用者数の推移
- 7 県立博物館の世代別入場者状況
- 8 県立博物館ホームページアクセス件数
- 9 主な展示・普及事業
- 10 千葉県立博物館の使命

1 都道府県設置登録博物館数

区 分	博物館数		区 分	博物館数
北海道	8		新潟	2
千葉県	5	分館3	長野	2
茨城県	4	分館2	東京都	2
埼玉県	6		大阪府	2
神奈川県	4	分館2	徳島県	2
群馬県	5		高知県	2
富山県	5		福岡県	2
福井県	5		佐賀県	2
山梨県	4		熊本県	2
兵庫県	4		青森県	1
和歌山県	4		山形県	1
秋田県	3		静岡県	1
石川県	3		奈良県	1
岐阜県	3		鳥取県	1
三重県	3		岡山県	1
滋賀県	3		山口県	1
島根県	3		香川県	1
広島県	3		大分県	1
愛媛県	3		鹿児島県	1
宮崎県	3		沖縄県	1
岩手県	2		東京都	—
宮城県	2		愛知県	—
福島県	2		長崎県	—
栃木県	2		全 国	120

(出典：平成27年文部科学省社会教育調査)

2 県内博物館数の変遷

	S30			S46			S50			S56			S62		
	登録	相当	類似	登録	相当	類似	登録	相当	類似	登録	相当	類似	登録	相当	類似
国立	0	1	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	0	1	1
県立	0	0	/	1	1	/	2	0	/	6	0	/	7	0	0
市町村立	0	0	/	2	0	/	4	0	/	6	1	/	10	1	14
私立	0	3	/	1	4	/	2	3	/	2	5	/	3	4	2
計	0	4	/	4	5	/	8	3	/	14	6	/	20	6	17

	H5			H11			H17			H23			H27		
	登録	相当	類似	登録	相当	類似	登録	相当	類似	登録	相当	類似	登録	相当	類似
国立	0	1	1	0	1	5	0	0	7	0	0	7	0	0	7
県立	8	0	3	10	0	3	9	0	2	5	0	2	5	0	1
市町村立	13	1	35	17	0	48	21	0	49	23	0	51	23	0	52
私立	5	5	10	8	5	19	12	5	17	6	5	16	8	7	16
計	26	7	49	35	6	75	42	5	75	34	5	76	36	7	76

(出典：平成27年文部科学省社会教育調査)

3 県立博物館収蔵資料点数

館名	資料点数	備考
美術館	4,401	日本画,洋画,彫刻,工芸,書の作品など
中央博物館	956,977	動物,植物,菌類,地学の標本資料など
大利根分館	21,799	民俗,歴史・考古資料など
大多喜城分館	2,009	歴史,生活,宗教資料など
分館海の博物館	65,548	海の動物、海藻の標本資料など
現代産業科学館	2,577	産業技術関係の資料
関宿城博物館	28,130	民俗,歴史・考古資料など
房総のむら	14,258	民俗,歴史・考古資料など
合計	1,095,699	

(平成29年3月31日現在)

4 主な博物館資料



浅井忠「漁婦」(美術館)



高瀬船模型(中央博物館大利根分館)



大薙刀(中央博物館大多喜城分館)



クジラ骨格標本(中央博物館)



旧川崎製鉄千葉一号高炉模型(現代産業科学館)

5 県立博物館収蔵庫の現状

館名	収蔵庫	
	延床面積(m ²)	収納率
美術館	771.50	94.5%
中央博物館	3,591.53	97.0%
大利根分館	253.83	98.0%
大多喜城分館	310.93	92.0%
分館海の博物館	347.52	98.0%
現代産業科学館	425.66	74.0%
関宿城博物館	257.11	98.0%
房総のむら	868.52	85.0%
合 計	6,826.60	92.1%

6 県立博物館の利用者数の推移

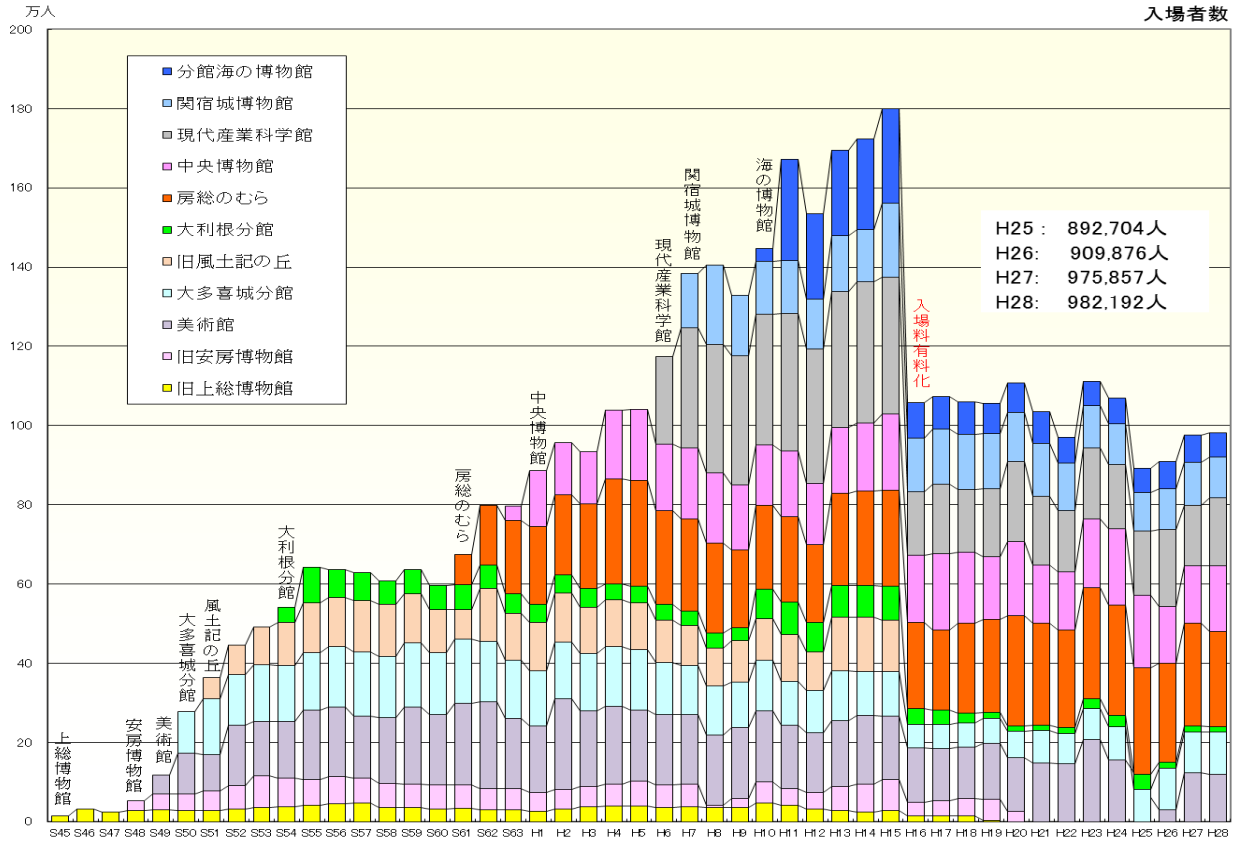
(単位：人)

年度 館名	平成 24 年度 (入館者)	平成 25 年度 (入館者)	平成 26 年度 (入館者)	平成 27 年度 ※3		平成 28 年度	
				入館者数	総利用者数	入館者数	総利用者数
美術館 ※1	156,247	0	30,036	122,573	127,109	119,915	218,234
中央博物館	193,443	184,059	142,635	143,954	158,974	166,596	174,202
大利根分館 ※2	29,046	36,743	16,668	14,501	26,073	13,555	31,957
大多喜城分館	82,801	82,292	104,134	104,577	105,291	106,926	107,481
分館海の博物館	63,926	61,210	68,835	69,319	72,946	61,390	62,933
現代産業科学館	161,882	161,365	195,808	152,887	153,719	169,778	172,127
関宿城博物館	103,122	98,376	103,056	108,572	110,576	104,135	105,704
房総のむら	278,697	268,659	248,704	259,510	264,779	239,902	251,850
計	1,069,164	892,704	909,876	975,893	1,019,467	982,197	1,124,488

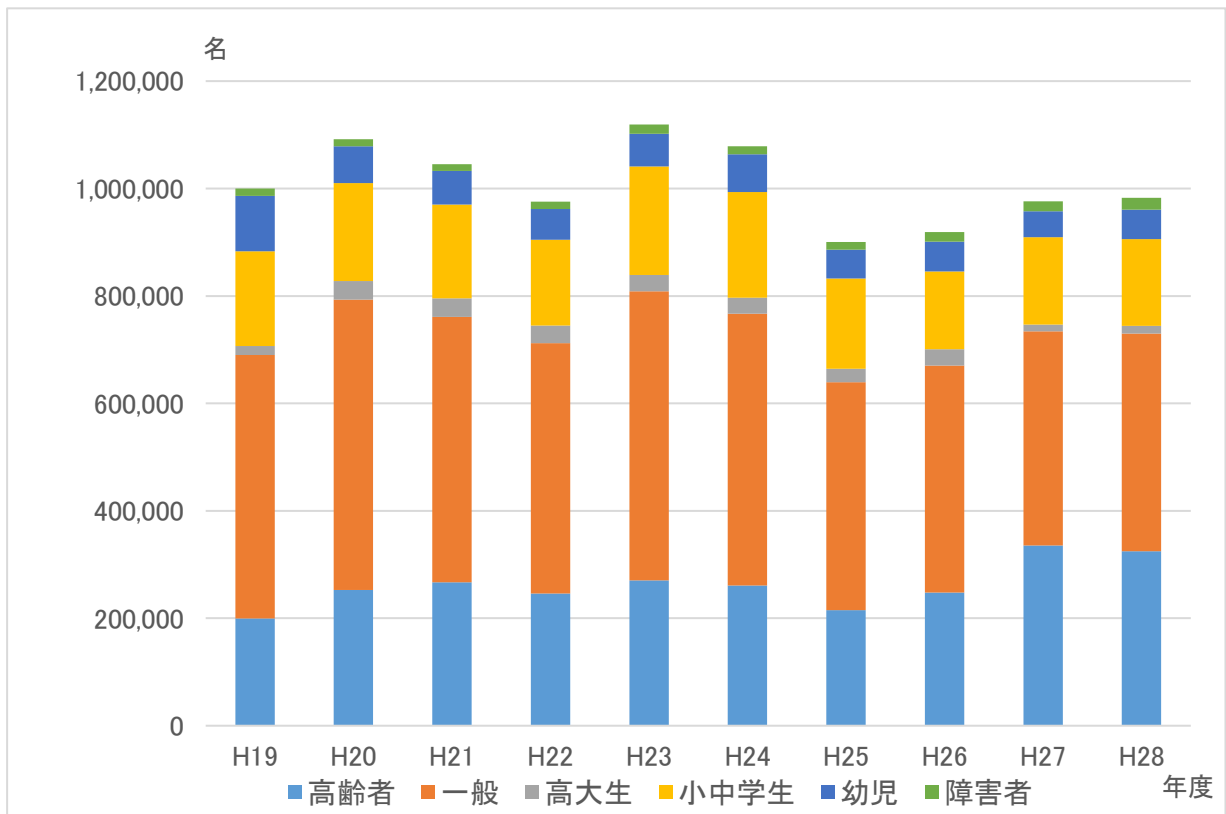
※1 平成 25 年 1 月から耐震改修等工事のため美術館休館、平成 27 年 1 月から再開館

※2 平成 19 年度より大利根分館は4～9月の6ヶ月開館

※3 「総利用者数」とは、入館者数と各館が実施する館外での事業に参加した人数を合算したものである。



7 県立博物館の世代別入場者状況



8 県立博物館ホームページアクセス件数

年度	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
トップページ	171,019	146,427	143,744	193,150	113,620	54,912	53,217	53,894	52,678	40,321
美術館	67,757	78,505	82,478	84,471	92,021	131,595	66,095	105,063	153,999	148,298
中央博物館	149,726	135,998	118,862	107,619	109,341	280,565	268,790	282,621	275,974	311,945
大利根分館	24,870	32,658	21,949	17,456	13,450	12,909	14,058	14,290	20,495	14,141
大多喜城分館	35,110	40,755	38,070	31,630	29,732	30,628	29,541	41,553	36,383	51,688
分館海の博物館	78,052	68,025	70,477	72,101	59,370	57,514	52,931	56,228	54,307	49,003
現代産業科学館	72,873	88,071	79,438	83,812	93,564	109,042	129,170	280,259	176,761	190,128
関宿城博物館	60,894	63,960	73,905	33,994	31,014	36,435	39,847	53,413	50,505	54,694
房総のむら	161,944	207,195	181,644	233,447	222,372	270,734	300,256	332,703	364,603	170,125
デジタルミュージアム	30,495	22,072	17,862	8,024	8,212	37,349	37,265	41,620	31,642	31,959
房総の山のフィールドミュージアム			-	-	-	12,319	10,712	8,939	8,475	8,898
合計	904,155	901,008	828,429	865,704	772,696	1,034,002	1,001,882	1,270,583	1,225,642	1,071,195

9 主な展示・普及事業



きのこワンダーランド展(中央博物館)



磯での観察会(中央博物館分館海の博物館)



展示解説会(関宿城博物館)



煎餅焼き体験(房総のむら)

平成24～28年度特別展・企画展実績

開催年度	開催館	展示名称	副題等	会期	入場者
平成28年度	美術館	メタルアートの巨人	津田信夫	平成28年10月25日～1月15日	6,223
	中央博物館	驚異の深海生物	新たなる“深”世界へ	平成28年7月9日～9月19日	38,060
	大利根分館	江戸時代房総名所めぐり		平成28年5月28日～6月26日	5,165
	大多喜城分館	甦った受難の刀剣	千葉県 <small>の</small> 赤羽刀	平成28年10月21日～12月11日	16,834
	現代産業科学館	夏のプラネタリウム上映会		平成28年8月12日～8月31日	14,963
		出発進行	もっと・ずっと・ちばの鉄道	平成28年10月14日～12月4日	16,852
	関宿城博物館	つながる川と海と人	あそぶ・親しむ・守る	平成28年10月4日～11月27日	12,790
房総のむら	炭と暮らす		平成28年10月8日～11月27日	18,359	
平成27年度	美術館	香取神宮展	神々を彩る美	平成27年11月17日～1月17日	8,604
	中央博物館	妖怪と出会う夏		平成27年7月11日～9月23日	29,566
	大利根分館	母の祈り	利根川下流域の女人信仰	平成27年5月30日～6月28日	6,874
	大多喜城分館	甲冑とその時代		平成27年10月23日～12月6日	16,415
	現代産業科学館	プラネタリウム上映会		平成27年8月4日～8月23日	15,766
		最先端ネットワークのかたち		平成27年10月23日～12月6日	7,264
	関宿城博物館	海路から広がったやきもの		平成27年10月6日～11月29日	13,665
房総のむら	千葉の鍛冶		平成27年10月10日～11月29日	7,944	
平成26年度	美術館	平山郁夫展	仏教伝来の軌跡、そして平和の祈り-	平成27年1月24日～3月22日	29,337
	中央博物館	図鑑が大好き！	ダーウィンからはじまる100の図鑑の話	平成26年7月19日～10月13日	39,282
	大利根分館	香取海がもたらしたもの		平成26年5月31日～6月29日	7,621
	大多喜城分館	大河内松平家と大多喜		平成26年10月24日～10月19日	
	現代産業科学館	プラネタリウム上映会		平成26年8月6日～8月31日	36,442
		科学映画上映会		同上	
		生物のデザインに学ぶ	未来をひらくバイオミメティクス	平成26年10月11日～11月30日	9,903
関宿城博物館	通運丸で結ばれた関宿・野田・流山	海運へのターニングポイント	平成26年10月7日～11月30日	13,940	
房総のむら	もめん	房総の木綿文化	平成26年10月4日～11月24日	57,535	
平成25年度	中央博物館	音の風景	うつりゆく自然と環境を未来に伝える	平成25年10月5日～12月1日	10,463
	大利根分館	利根川と文学	寺田憲とその周辺	平成25年6月1日～6月30日	8,401
	大多喜城分館	上総の仏教美術Ⅱ	山武・長生	平成25年10月25日～12月8日	14,068
	現代産業科学館	プラネタリウム上映会		平成25年8月14日～8月25日	12,296
		飛べ！ 大空へ	とばすワザ とぶフシギ	平成25年11月9日～12月15日	6,050
	関宿城博物館	川が結ぶ	東北地方と江戸を結んだ利根川水運	平成25年10月8日～12月1日	13,298
房総のむら	印旛沼周辺の漁と食		平成25年10月5日～11月24日	3,808	
平成24年度	美術館	光のアート展		平成24年7月14日～9月2日	26,192
		増村 益城 展		平成24年11月17日～12月27日	3,813
	中央博物館	ティラノサウルス	肉食恐竜の世界	平成24年10月20日～12月24日	50,631
		シカとカモシカ	日本の野生を生きる	平成24年7月7日～9月17日	36,081
	大利根分館	水郷を旅する人々Ⅱ		平成24年5月26日～6月24日	544
	大多喜城分館	上総の仏教美術		平成24年10月26日～12月9日	14,260
	現代産業科学館	宇宙へのきぼう		平成24年8月11日～8月22日	8,329
		未来へつなぐエネルギー		平成24年10月20日～12月9日	5,631
関宿城博物館	醤油を運んだ川の道	利根川・江戸川舟運盛衰	平成24年10月2日～11月25日	19,253	
房総のむら	むらの自然		平成24年10月6日～11月25日	44,344	

10 千葉県立博物館の使命（平成16年度策定）

（1）千葉県立博物館の使命

千葉県立博物館は、千葉県の自然・文化を守り、伝え、新たな知見を創造し、情報を発信します。この活動をとおして人材を育成し、県民の学習および地域づくりを支援します。

<千葉県立博物館の使命について>

- ①調査・研究を基に、新たな資料の価値を発見し、千葉県の自然・文化に関する資料を収集・保存して、後世に伝えます。
- ②資料や調査・研究の成果を知的資産として蓄積し、その情報を発信することによって県民と共有し、文化および科学の進展へ寄与します。
- ③県民に専門性や体験を重視した生涯学習の機会を提供し、自然や文化を愛する人材を育成します。
- ④博物館は地域の核となって、まちづくり、地域文化振興、地域おこし、といった地域づくりを支援します。

（2）千葉県立美術館の使命

千葉県立美術館は、千葉県ゆかりの美術資料を中心として体系的に収集、保管して後世に継承するとともに、「みる、かたる、つくる」活動により新たな知見を創造し、美術情報を発信します。さらに、この美術活動をとおして、美術を愛する人材を育成し、県民の学習および地域づくりを支援します。

- ① 調査・研究を基に、新たな美術資料の発見と価値を見出し、千葉県の美術・文化に関する資料を収集・保存して、後世に伝えます。
- ② 美術資料や調査・研究の成果を知的資産として蓄積し、その情報を発信することによって県民と共有し、美術の振興と発展に寄与します。
- ③ 県民に専門性や体験を重視した生涯学習の機会を提供し、美術や文化を愛する人材を育成します。
- ④ 美術館は地域の核となって、美術を通してまちづくり、地域文化振興、地域おこし、といった地域づくりを支援します。

(3) 千葉県立中央博物館の使命

千葉県立中央博物館は、地域の市民と共に、自然と歴史に関わる資料・情報を収集・蓄積するとともに、基礎的・国際的視野に立つ科学研究により、その新たな価値を発見し、教育、展示その他全ての博物館活動を通して県民や社会へ発信し、県民共有の知的資産として未来へ伝える。また、千葉県の中核的総合博物館として、さまざまな市民の幅広い知的ニーズに応えつつ、双方向の交流を通して、その生涯学習拠点となる。

- ①千葉県の自然と歴史に関連する資料・情報を収集保存し、県民共有の資産として活用を図りつつ、未来に伝える。(自然と歴史に関する資料・情報の収集と保存)
- ②収集した資料・情報に関する調査研究により、その価値を発見・発信し、県民共有の知的資産としていく。(地域の自然と歴史に関する価値の発見)
- ③県民との双方向交流により、地域の自然と歴史に関する資料・情報の集積を図り、自然と歴史に関する情報センターとして、地域に根ざしつつ、県民の多様で高度な知的需要に応える。地域に根ざして社会・行政に貢献しつつ、日本、世界へと情報発信してゆく。(資料・情報の受信と発信)
- ④生涯学習の拠点として、幅広い県民の学習活動を積極的に支援しつつ、時代のニーズにあった学校との連携を進める。(学習の支援)
- ⑤県民との協働事業に積極的に取り組み、博物館活動への市民参画を推進し、地域社会の自然と歴史を理解し、守り育てる人材を育成する。(県民との協働と人材の育成)
- ⑥博物館活動を現場(フィールド)の自然や文化と強く関連づけて実施し、現地の自然・文化を守り育くみ伝えてゆく博物館事業を推進する。(フィールド事業の推進)
- ⑦県内の各種博物館その他社会教育施設等の活動の中核的な機関として、機関相互の情報交換や共催事業の推進に努め、センター機能を更に充実させ、将来の統合に向け、総合博物館としての具体的な準備を進める。(地域の中核的博物館)

(4) 千葉県立現代産業科学館の使命

千葉県立現代産業科学館は、科学技術の調和ある発展と、人類社会の未来の可能性を信じて様々な活動を展開し、幅広い県民の集う博物館を目指します。

〈千葉県立現代産業科学館の使命について〉

- ① 鉄鋼，石油，電力など本県工業の基幹をなす産業と，先端技術産業等に応用された科学技術について，博物館の視点で調査・研究するとともに，適正な評価基準により資料を収集・保存・展示し，次の世代に託します。
- ② 工場プラントなど大型の設備や建造物について，画像などによる記録保存に努めるとともに，工業歴史資料調査を継続して実施し，本県の産業に関わる歴史的資料の保存に留意しながら，その情報を県民と共有し必要に応じて県内外に発信します。
- ③ 私たちは工業製品に囲まれていながら，その基本となる科学技術について十分理解しているとはいえません。子どもから大人まで体験できる展示・演示実験，各種教育普及事業等を通じて，科学技術や文化に親しむ場を目指します。
- ④ 県立博物館として高い専門性と幅広い活動を維持し，地域の各種団体との親和に留意するとともに，産業界，学校教育，NPO組織等との連携を密にして県民のニーズに応えます。

(5) 千葉県立関宿城博物館の使命

千葉県立関宿城博物館は、「河川とそれにかかわる産業」「関宿藩と関宿」をテーマに川と人々とのかかわりについての歴史・産業・文化・自然等に関する資料の収集・保管・調査研究と情報の発信を行い，県民へ生涯学習の場を提供します。

運営の重点

- ① 「河川とそれにかかわる産業」「関宿藩と関宿」をテーマに利根川・江戸川を中心とした河川に関する資料・関宿藩に関する武器・武具・古文書等の歴史資料を収集・保管し後世に伝えます。
- ② 調査研究の成果は，知的財産として蓄積し，その情報を発信することにより県民及び隣接する他県民と共有し，歴史・産業・文化・自然・河川教育の発展に奇与します。
- ③ 県民及び隣接する他県民に専門性を重視した生涯学習の機会を提供し，歴史・産業・文化・自然を愛する人材の育成に努めます。
- ④ 地域の核となって，歴史・産業・文化・自然・河川をとおして地域づくりや学校教育を支援します。

(6) 千葉県立房総のむらの使命

千葉県立房総のむらは、伝統的なくらしや道具、ものづくりの技を保存・継承し、新たな価値を見出し、展示や体験をとおして歴史や文化を学ぶ博物館を目指します。そして、歴史や自然を愛する心を育み、伝統文化の理解や学習、地域づくりを支援します。

- ①千葉県の原始・古代から近・現代までのくらしやものづくりに関する有形・無形の資料を収集・保存して後世に伝えるとともに、調査・研究を通して新たな知見を創造します。
(収集・保管, 調査・研究)
- ②資料や調査研究の成果を知的資産として蓄積し、その情報を発信することによって県民と共有し、文化および科学の発展へ寄与します。(情報発信)
- ③衣・食・住・技の移りかわりを展示や体験をとおして楽しく学ぶ機会を提供するとともに、伝統的な技術や素材をこれからのくらしに活かす可能性を探ります。
(学習支援, 展示, 体験)
- ④考古資料によって人々のくらしの移りかわりを展示し、現在やこれからの社会を考える場となります。(考古展示)
- ⑤専門性や体験を重視した生涯学習の機会を提供し、伝統文化や自然を愛する人材を育成するとともに、伝統的技術保持者や後継者の育成を支援します。(学習支援, 人材育成)
- ⑥竜角寺古墳群を保護するとともに、人との関わりの中で遺されてきた里山の景観を保全します。(遺跡保護, 里山保全)
- ⑦まちづくり, 地域文化振興, 地域おこしといった地域づくりの拠点としての役割を担います。(地域おこし)
- ⑧日本文化を海外に紹介するとともに、国際交流の場となります。(国際交流)